



公益財団法人日本YWCA

2024年度事業報告

事業年度: 自)2024年4月1日 至)2025年3月31日

公益財団法人日本YWCA 2024 年度事業報告

事業年度: 自) 2024年4月1日 至) 2025年3月31日

2023年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが「5類感染症」となり、2024年度はコロナ禍以前の活気を取り戻し、対面でのプログラムや会議、研修を実施することができた。コロナ禍で得たオンライン活用の知見と、そのメリットを活かしながら、工夫や検討を重ねて以下の事業を実施した。

1. 平和・人権・環境などグローバルな課題について学習及び普及活動を行い、かつこれらの問題解決のために若い女性のリーダーシップを養成する事業（公益目的事業1）

「平和」「人権」「環境」「教育」「女性への暴力」「HIVとAIDS」「性と生殖/健康」など女性と子どもに関わる地球規模のグローバルな課題を、ことに若い世代の人たちに普及啓発することを目的に、若い女性を対象とした以下のリーダーシップ養成プログラムを実施した。COVID-19感染症も「5類感染症」に移行して1年、2024年度は座学その他、可能な範囲で課題の現場への訪問を重視したフィールドワークを行い、これらの学習と実践によって平和構築で国際社会に貢献する次世代の人材養成を行った。

■ひろしまを考える旅

実施日: 2025年3月24日(月)～26日(水)

主会場: 日本バプテスト広島キリスト教会ほか、広島市および呉市

参加者: 32名(内、ボランティアおよび学生ボランティア7名、通訳2名、職員4名)

「ひろしまを考える旅」は、核兵器による惨事を二度と繰り返さないために、平和の大切さを学び、平和な世界を実現したいと願い、広島の地で実施する2泊3日のプログラムである。1970年に始まり、コロナ禍までは、ほぼ毎夏開催してきた。コロナ禍後、2回目となる今回の旅は、Genuine共同代表の徳田悠希さんによる基調講演に始まり、ジェンダーの視点から核兵器を考える活動をはじめ、環境・植民地主義とも直結する「核」問題を、どうすれば「自分の問題」にしていけるのか?という視座を得た。2日目のフィールドワークでは、「海外からひろしまに思いを寄せた人々」「韓国・朝鮮人被爆者の歩み」「呉市の過去・未来」のコースに分かれて現地を歩き、被爆者・空襲体験者、伝承者の言葉に耳を澄ませた。最終日、まとめのワークショップでは、旅の経験を振り返りながら、参加者同士が自分の言葉で想いを語り合い、「核がない世界のために自分にできることを」考え、表現した。原爆投下から80年となる今、ヒロシマ・ナガサキが最後の被爆地でありつづけるためにはどうすればよいか、わたしたち一人ひとりにできることは何か?にじっくり向き合うプログラムになった。

■ジェンダーに取り組むユースの活動

今年度のユース・ジェンダー小委員会は、「政治とジェンダー」をテーマに掲げ、政治・社会分野におけるジェンダーをテーマに活動した。10月14日から27日にかけて、衆議院選挙に合わせ、SNSでメンバーが選挙で注目する点や、候補者の方に求めること・期待していること、地域の問題や課題の改善策について発信。岩永康代 東京都議会議員を講師に迎え、「『女性の声を政治に届ける』」をテーマに話を聞いた。また、街中で目に入る、「性的な広告」に関してアンケート調査をし、女性の尊厳を守るための表現の改善を求めるステートメントの作成に取り組み、オンラインワークショップを実施した。

・『女性の声を政治に届ける』

実施日:2025年1月12日(日)

場所:日本YWCA 御茶ノ水事務所

参加者:7名

・『もやる公告にわたしたちの声を届けよう』

実施日:2025年3月2日(日)

方法:Zoomによるオンライン

参加者:5名

■インターン受け入れ

インターン名:Yasmin Poole(オーストラリア)

日程:2024年9月9日~10月31日

訪問/インターン先:日本YWCA(9/10、9/13、横浜YWCA(9/9)、東京YWCA(9/14)、京都YWCA(9/17~10/17)、大阪YWCA(10/17~30)、オンライン報告会開催(10/28)

■中国YWCA 来日訪問

日程:2024年8月26日~30日

訪問メンバー:

Qianli JIANG(中国YWCA会長)、Xiaoxin GUI(中国YWCA総幹事)、Ning ZHANG(中国YWCA書記役員)、Jian HUANG(杭州YWCA総幹事)、Yan XIE(上海YWCA総幹事補)、Yibao HUA(成都YWCA総幹事)、SHI Hai(通訳者)、XIA Hansong(通訳者)

訪問先:京都YWCA(8/26)、大阪YWCA(8/27)、横浜YWCA(8/28)、東京YWCA(8/29-30)

内容:社会福祉事業について情報収集・情報交換、日本YWCAとの今後の連携について協議した。

2. 青少年の健全な心身育成に資する事業 (公益目的事業1)

毎夏、豊かな出会いの中で思いやりと生きる力を育み、平和な未来を創り出す人材を養成することを目的に、中学生や高校生を対象にカンファレンスを実施している。2024年夏は、地区ごとに「地区カンファレンス」を実施した。なお、3年に一度全国規模でのカンファレンスを実施しており、2025年度は「全国カンファレンス」開催の年にあたる。

■中高YWCA 東北・北海道地区カンファレンス

実施日:2024年7月31日(水)~8月2日(金)

場所:山形六日町教会

参加者:17名

テーマ:平和

内容:映画『ガザ~素顔な日常』/山形六日町教会:教会の方からお話を伺う/講演・Rise Upのワークショップ

■中高 YWCA 関東地区カンファレンス

実施日:2024年8月5日～7日(水)

場所:清泉寮

参加者:30名

テーマ:自分・世界・平和

内容:ポールラッシュ記念館見学/自然に関するワークショップ/基調講演/班ごとの活動/YWCAの時間

■中高 YWCA 関西地区(西南地区)カンファレンス

実施日:2024年7月31日(水)～8月2日(金)

場所:生野コーライブズパーク、日本聖公会川口基督教会、日本聖公会大阪城南キリスト教会

参加者:80名

テーマ:愛と調和:WとCを考える

内容:RISE UP!/大阪暮らしの今昔館/川口の居留地の話を聴く

■中高 YWCA 顧問総会・研修会

日本 YWCA に加盟する学校 YWCA の顧問を対象とする研修と、1年間の活動報告と活動計画について協議する顧問総会を毎年実施している。2024年度も前年度同様対面とオンラインのハイブリッド方式で行った。

<中高 YWCA 顧問研修会>

開催日:2024年12月26日(木)

内容:フィールドワーク(第5福竜丸記念館・東京大空襲戦災資料センター・横網公園・東京都慰霊堂・京都復興記念館)

出席:12校12名

<中高 YWCA 顧問総会>

開催日:2024年12月27日(水)13:30～15:30

開催方法:ハイブリッド方式(対面:東京 YWCA 会館、オンライン:Zoom)

出席:9校9名(対面)、3校3名(オンライン)

主な議事:2025年の全国カンファレンスについて、2024年度中高 YWCA 委員について、2025年度顧問総会・研修会の日程ほか

■オンライン・ユースギャザリング

第1回

日時:2024年7月20日(土)19:30～21:00

内容:京都 YWCA ユース委員会の活動報告、ディスカッション

出席:7名

第2回

日時:2024年11月9日(土)19:30～21:00

テーマ:メディアとジェンダー、ユースの政治参画

参加者:4名

3. 国連機関および国内外のNGO との協働や機関紙・ウェブサイトでの情報配信等を通して行うアドボカシー(政策提言等)事業 (公益目的事業 1)

国連の諮問機関でもある世界 YWCA との連携と協働のもと、女性と子どもに関するグローバルな課題解決のために政策提言を行った。平和・人権・環境・教育・女性への暴力・HIV と AIDS・性と生殖/健康など、女性と子どもに関わる課題を取り上げたアドボカシー事業を実施し、真理を見極める人材を育成した。また、当法人の公益事業の周知と当法人に対する支援や協力の推進をはかるべく情報発信や広報、ファンドレイジングの促進を行った。それらを YWCA が発行する機関紙やウェブサイトでの情報配信を行った。

■CSW69 パラレルイベント

Under Threat: Life Near U.S. Military Bases in Japan 脅威のもとで暮らす～在日米軍基地問題を共に考える

派遣日程:2025 年 3 月 9 日(日)～15 日(土)

派遣者:ユース 5 名、現地アドバイザー 1 名、職員 1 名

日本 YWCA は国連協議資格を持つ国際団体として、毎年 3 月に米国で行われる国連女性の地位委員会にユースを公募・派遣している。CSW69にあわせて実施される NGO 主催イベントとして、「脅威のもとで暮らす～在日米軍基地問題を共に考える～」をテーマに、プレゼンテーションとディスカッションを行った。派遣されたメンバーがそれぞれの立場や経験から、日本、特に沖縄における米軍基地問題について自分ごととして考えて欲しいという強いメッセージを発信した。

■その他アドボカシー活動

- * 機関紙「YWCA」の企画・編集・年 6 回発行
- * 「核」否定に関する情報をわかりやすく発信
- * ウェブサイトでの情報を国内および世界に向けて随時発信
- * 全国アクション(日本 YWCA Facebook キャンペーン、や署名運動の呼びかけ)
- * 政策提言を必要に応じて実施
- * 民意を無視した政治の情報収集及び他団体協働の集会への賛同、国会前行動への参加
- * 他団体の媒体への情報掲載や、イベント等への協働

<声明・要望書・賛同>

2024 年

4 月 3 日 抗議文「武器輸出に反対し、外交努力による平和構築を求めます」

5 月 31 日 「上川外務大臣宛 ICC の独立性を守るために日本政府に行動を求める」に署名。

10 月 4 日 特定非営利活動法人メコン・ウォッチより

声明文「ミャンマーで困難な状況にある人びとに確実に届く国際協力を求めます」への賛同

10 月 7 日 パレスチナの平和を求める声明

10 月 25 日 祝・ノーベル平和賞受賞！日本政府は一刻も早く核兵器禁止条約を署名・批准・国家補償を

12 月 19 日 「私たちは尹錫悦政権退陣民主化闘争に連帯します」への賛同

12 月 26 日 「国立女性教育会館の研修棟・宿泊棟の撤去・廃止に反対する声明」への賛同

2025 年

2 月 22 日 女性差別撤廃委員会(CEDAW)に対する日本政府の措置に対する抗議文

3 月 17 日 「ガザの恒久的停戦と、パレスチナの平和を求める」声明発信

4. 国内外の災害や紛争等に対する緊急支援事業（公益目的事業1）

国内外で起こった地震・洪水・事故等の災害や紛争等で被災した女性や子どもたちの安全と安心を確保するために、支援物資や支援金の提供および現地のニーズにあった適切なプログラムを実施した。また、そのために必要なボランティア等の人材を養成した。

■東日本大震災被災者支援

2011年の東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故以来、あの日生まれた子どもたちが20歳になるまで支援を続けると決意し、「com7300」(com=共に 7300=20年間の日数)を合言葉に、東日本大震災被災者支援を継続、被災した女性や子どもたちを対象に、リフレッシュプログラム等中長期の支援を行ってきた。2023年度からは、全国の地域YWCA主催のリフレッシュプログラムの代替事業への補助という形で支援を実施。2024年度は、以下のプログラムを支援した。

* 東京YWCA主催「福島第一原子力発電所の今と福島の人びとの思い

東日本大震災の風化を防ぐプログラム 2024「福島の声聞く」①

日時:2024年6月8日(土)

場所:東京YWCA会館カフマンホール

講師:市村高志(TCF:Tomioka. Connection. Fellowship)、菅波完(高木仁三郎市民科学基金)

参加者:52名

東日本大震災の風化を防ぐプログラム 2024「福島の声聞く」②

日時:2025年3月29日(土)

場所:東京YWCA会館カフマンホール

講師:清水奈名子(宇都宮大学国際学部教授)、横山聡さん(弁護士、広域避難者支援連絡会東京代表)

参加者:40名

* 仙台YWCA主催

朗読 紙芝居劇『「ごめんなさい、ずっと嘘をついてきました。—福島第一原発 ほか原発一同』

朗読劇の映像上映 &トーク

日時:2024年9月7日(土)10:30~12:30

場所:仙台YWCA会館

参加者:23名

* 被災者受け入れのための住宅支援「セカンドハウスプログラム」

日本YWCAは、主として家族単位で被災者を受け入れ、東日本大震災被災者支援募金より交通費の一部を補助。各地域YWCAの協力を得て続けている。賛同者の協力によって2024年度も無事に実施することができた。

2024年度利用者数:4家族17名(保護者8名、子ども9名)



*** 福島市の女性や子どもたちの活動スペースとして、YWCA活動スペース「カーロふくしま」(福島県福島市矢剣町29-3)を運営**

活動目的:

- ・ 地域の女性の暮らしを再生することを支援する。
- ・ 福島市周辺に住む女性を対象に、暮らし再建のため、自らの、また地域の抱える課題解決のために主体的に行動できる人材を養成する。
- ・ 活動に参加した女性たちが、その後地域に根差した新規活動を立ち上げ、被災地域の復興と活性化を図ることを支援する。
- ・ 全国の保養活動やセカンドハウスプログラムの拠点となる。

以上を目的として、福島を拠点に事業を展開してきた。東京電力福島第一原子力発電所事故より12年が経ち、「カーロふくしま」を拠点とする活動も10年を経過した。ここでcom7300の今後のあり方を検討し、2024年6月をもって「カーロふくしま」を閉じることにした。今後は、新たな方法で、これまでの繋がりを大切にしながら、福島女性のリアルな声の発信や、ユース主体の被災地の旅の実施、YWCAの東日本大震災被災者支援活動の趣旨に賛同する個人や外部団体への支援・補助などを企画・実施していきたいと考えている。

■国内外で起こった災害や紛争等の緊急・中長期支援

*** パレスチナへの連帯と支援の取組み**

日本YWCAは、これまでもパレスチナYWCAを通じ、紛争下で生きる女性や子どもたちを支援する活動を行ってきた。パレスチナでの深刻な状況悪化が続く中、1950年に難民キャンプで幼稚園事業を開始したパレスチナYWCAは、軍事占領下で生きる子どもたちが学び、健康に育ち、自信を育む場をつくり続けている。2023年10月以降のイスラエルによるガザ攻撃に際しては声明や要望書の発信を行っている。日本YWCAは2022年、COVID-19の流行で困難に直面するパレスチナYWCAの幼稚園事業を支える募金の呼びかけを開始し、現在も継続して呼びかけている。

*** パレスチナYWCAの活動支援およびオリーブの木キャンペーン**

イスラエル軍や入植者により脅かされるパレスチナの土地に世界中の人々がオリーブを植樹する「オリーブの木キャンペーン」は、パレスチナYWCA・東エルサレムYMCAの共同プロジェクトである。パレスチナの人々の生活に深く根差すオリーブを通じた非暴力かつ世界中の人が寄付により参加できる方法で、現地の状況を広く伝え、雇用創出、環境保全、生活の安定化をはかっている。日本YWCAはこの「オリーブの木」キャンペーンを支援しており、2024年には209本の苗木を届けることができた。

*** ウクライナ支援の取組み**

2022年2月のロシアによる侵攻開始以来、日本YWCAは全国の地域YWCAと連携してウクライナの支援に取り組んでいる。2022年度は、ウクライナYWCAと日本YMCA同盟が行うウクライナ内外避難者への支援活動に募金を届けた。2023年3月からは支援先をウクライナYWCAに絞って募金をよびかけ、2024年度も継続して呼びかけている(2024年度募金額1,067,988円)。ウクライナYWCAは、ロシアによる侵攻により困難に直面する女性や子どもたち、特に幼児や新生児を持ち困窮する国内避難民の家族を支援している。物資支援に加え、戦争によるトラウマや病気などの困難を抱える女性たちへの医療支援を行っており、日本YWCAは募金を通じて活動を支えている。

***ビルマ・プラットフォームへの参加**

2022年11月よりキリスト教会およびキリスト教関連団体を中心としたネットワーク「ビルマ・プラットフォーム」に参加している。同プラットフォームは、現地の団体への支援を通して教育・医療・農業に同時並行的にアプローチし、長期的・非暴力的な形で人権の保護・促進に寄与していくことを目的としている。2024年11月には他団体と協働し、神奈川県慶應義塾大学日吉キャンパス協生館藤原洋記念ホールで「ディエゴ・カエターノ田辺いづみ“ミャンマー市民とともに希望の光に向かって”チャリティー・コンサート」を開催した。

来場者:406名、支援募金1,522,000円

5. 地域社会に貢献するボランティアのリーダーシップ養成事業(公益目的事業1)

国際規模の社会貢献活動を推進し、質を維持するために継続したリーダーシップトレーニングの実施が不可欠である。以下のボランティアによる全国規模の集会や会議等の社会貢献活動プログラムを日本YWCAに加盟する全国の地域YWCAおよび学校YWCAと、日本YWCAが加盟する世界YWCAに連なる各国YWCAとの協働により実施する。これらのプログラムに参加することによって、ボランティアのリーダーシップが発揮されるようになり、ボランティア・コーディネートを担い、社会状況を分析する力を養い、地域社会・国際社会の女性と子どものニーズに応えながら、主体的に事業の企画・推進を担う、国際的視野に立つ人材が育成される。

■社会貢献活動を推進するボランティアのリーダーシップ養成

国際的・社会的状況を把握・分析し、課題解決のために取り組むべき事業を担うために必要な力を養うためのプログラムおよび研修会

*** 日本YWCAの公益事業の企画会議(運営委員会)**

開催日:

2024年 4月27日(土) 5月19日(日) 6月23日(日) 7月25日(木) 8月24日(土)

2025年 1月26日(日) 3月16日(日)

* 8/24、1/26は御茶ノ水事務所にて対面とZoomによるオンラインのハイブリッド。その他はいずれもZoomによるオンライン。

構成員:15名

*** 第1回会長会—オンラインで学ぼう**

開催日:2024年5月15日(水)19:30~21:00

方法:Zoomによるオンライン

内容:加盟YWCA中央委員会のオリエンテーション、VIガイドについて、地域YWCAの活動にあたっての危機管理について ①食の提供を行う活動に関して、②ハラスメントの対策と対応、③個人情報の管理、④行

参加者:48名

(釧路・札幌・函館・仙台・福島・東京・横浜・湘南・平塚・新潟・静岡・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・呉・松山・福岡・長崎・熊本・沖縄・日本YWCA)

*** 第 2 回会長会—出会う交流**

日時:2024 年 5 月 24 日(金)16:00~18:00

会場:福岡 YWCA

参加者:32 名

(函館・仙台・福島・東京・湘南・平塚・新潟・静岡・名古屋・京都・大阪・広島・呉・福岡・長崎・沖縄・日本 YWCA)

*** 全国規模の社会貢献事業の企画会議**

・ **加盟 YWCA 中央委員会**

開催日:2024 年 5 月 25 日(土)10:30~17:30

方法:対面(西南学院中学・高等学校)と Zoom によるオンラインのハイブリッド

出席者:45 名

・ **第 34 回 全国会員総会**

開催日:2024 年 11 月 23 日(土)11:00~20:30 ・ 24 日(日)8:45~15:00

方法:国立オリンピック記念青少年総合センターでの対面と Zoom によるオンラインのハイブリッド

出席者:90 名

ウェブ会員制度を新設するための会則改正について協議、可決された。

*** 全国の社会貢献事業の拠点である全国の YWCA のリーダーシップ研修**

・ **YWCA のアイデンティティ研修—キリスト教基盤について**

全 3 回とも Zoom によるオンライン

【第 1 回】

開催日:2024 年 6 月 14 日 (金)19:30~21:15

参加者:31 名

講師:梅川玲子(神戸 YWCA 保育園 園長)、尹 卿恵(藤沢教会附属みくに幼稚園園長)

テーマ:子どもを取り巻く活動の現場から

【第 2 回】

開催日:2024 年 10 月 11 日(金)19:30~21:15

参加者:34 名

講師:仲谷利理(横浜 YWCA)、三股まさ子(平塚 YWCA)

テーマ:ともに食卓を囲む現場から

【第 3 回】

開催日:2024 年 12 月 10 日(火)19:30~21:15

参加者:33 名

講師:鳥しづ子(日本キリスト教団うふざと教会牧師)

テーマ:平和をつくり出す活動の現場から

・ **会長・副会長・書記・会計担当者研修**

全 2 回とも Zoom によるオンライン

【第 1 回】

開催日:2024年6月17日(月)19:30~21:10

参加者:28名(仙台・新潟・横浜・東京・湘南・平塚・静岡・京都・神戸・沖縄・日本YWCA)

テーマ:YWCAを知ろう

【第2回】

開催日:2024年10月21日(月)19:30~21:10

参加者:39名(仙台・新潟・横浜・東京・湘南・平塚・静岡・京都・神戸・福岡・沖縄・日本YWCA)

テーマ:会議運営のスキルを学ぼう

・ **社会に挑む YWCA のガバナンス**

全2回とも Zoom によるオンライン

講師:川北秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表)

【第1回】

日時:2024年9月23日(月・休)10:00~12:30

参加者:27名(東京・平塚・名古屋・京都・神戸・広島・福岡 YWCA・日本YWCA)

【第2回】

日時:2025年2月24日(月)10:00~12:30

参加者:26名(東京・名古屋・京都・神戸・広島・福岡 YWCA・日本YWCA)

・ **マーケティング研修 チャレンジ! YWCA の「The マーケティング部」**

日時:2024年9月28日(土)10:00~12:00

開催方法:Zoom によるオンライン

講師:清塚典子(日本YWCA 副会長)

参加者:15名(函館・仙台・東京・平塚・名古屋・京都・大阪・沖縄・日本YWCA)

・ **オンライン財務研修 今さら聞けない財務諸表の読み方**

全2回とも Zoom によるオンライン

講師:西原美香子(日本YWCA 財政・会館事業部会担当幹事)

【第1回】貸借対照表

日時:2024年8月1日(木)19:30~21:00

参加者:18名(函館・仙台・東京・静岡・名古屋・京都・大阪・神戸・呉・日本YWCA)

【第2回】正味財産増減計算書

日時:2024年8月22日(木)19:30~21:00

参加者:17名(函館・仙台・東京・静岡・名古屋・京都・大阪・神戸・呉・日本YWCA)

6. 土地建物の貸与および共有事業 (収益目的事業 1)

当法人の公益目的事業の実施に必要な資金を補うことを目的として、法人が所有する東京都千代田区九段南 4-8-8 の土地と建物を貸与している。公益目的事業に安定した資金供給のために、建物を良好な状態で維持管理するべく、日常の営繕を実施した。



7. 法人運営

当法人の管理・運営業務として、評議員会・理事会を設置している。2024 年度は以下のように会議を実施した。

(1) 評議員会

開催日

2024 年 6 月 18 日(火) 於:東京 YWCA 会館 217 号室

2025 年 3 月 18 日(月) * 書面決議

2024 年 6/18	<p>議案</p> <p>第 1 号議案 評議員長の選出の件</p> <p>第 2 号議案 議事録署名人選出の件</p> <p>第 3 号議案 2023 年度事業報告並びに同附属明細書の承認の件</p> <p>第 4 号議案 2023 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び同附属明細書並びに財産目録の承認の件</p> <p>報告</p> <p>1.2023 年度第 1 回～第 6 回および 2024 年度第 1 回～第 2 回理事会の決議内容について</p> <p>2.2024 年度第 3 回理事会の議案について</p>
2025 年 3/18	<p>議案</p> <p>第 1 号議案 2025 年度事業計画案の承認の件</p> <p>第 2 号議案 2025 年度予算案の承認の件</p> <p>第 3 号議案 資金調達及び設備投資の見込を記載した書類の承認の件</p>

(2) 理事会

開催日

2024 年 4 月 27 日(土) 6 月 2 日(日) 7 月 14 日(日)－15(月) 9 月 30 日(月)、11 月 18 日(月)

2025 年 1 月 8 日(水) 2 月 25 日(月) 3 月 10 日(月) 3 月 12 日(水)

2024 年 4/27	<p>1. 公益財団法人神戸 YWCA の理事との話し合いの件</p> <p>2. 職員退職の申し出の件</p> <p>3. 日本 YWCA の中長期計画の検討のための理事会開催の件</p>
6/2	<p>議案</p> <p>第 1 号議案 2023 年度事業報告の承認の件</p> <p>第 2 号議案 2023 年度計算書類(貸借対照表・正味財産増減計算書)および附属明細書並びに財産目録の承認の件</p> <p>報告</p> <p>1. 前回理事会以降の各部会の進捗状況の件</p> <p>2. 運営委員会関連報告</p>
7/14－15	<p>議事</p> <p>1. 理事として、現状と今後の課題のわかちあい</p>

	<p>2.平和のためのYWCA 研究室・人材養成部会—タスクとして達成したことと課題</p> <p>3.運営委員会からの発題</p> <p>4.仙台・平塚・広島・沖縄チームおよび神戸 YWCA ワーキンググループの進捗状況</p> <p>5.今後の理事会について</p> <p>6.com7300 の今後—2031 年までの活動について</p> <p>7.今後の財政について—安定した財政のあり方と課題</p> <p>8.今後のユースエンパワメントについて</p> <p>(1)中高 YWCA の理事会のもとに位置づけについて</p> <p>(2)全国幹事会について</p> <p>上記について審議し、以下を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台 YWCA 理事会からの会館の改修のための 100 万円借入れの依頼については、仙台 YWCA の自己資金で賄うよう返答する。 ・ 神戸 YWCA との「協働作業」は、神戸 YWCA 理事会の決定「後」説明資料①②③それぞれに対して必要となる。その都度経過報告しながら、日本 YWCA「理事会」として応答できるようにしておく。 ・ 日本 YWCA 理事会のもとに以下の部署を置く。11 月の全国会員総会で組織図を提示できるように整える。 <ul style="list-style-type: none"> * 全国の地域 YWCA のネットワークの資産運用を考える部署 * ユースエンパワメント事業の部署 <ul style="list-style-type: none"> — 中高 YWCA 委員会の位置づけも要検討。 — com7300 の今後 7 年で奨学金事業を行う場合はこの部署に位置付けることも要検討。 * ユースエンパワメント支える人材養成事業の部署。 * 大規模災害にも備える災害支援事業の部署 * 将来構想を前提にした新事業を準備・展開する部署 <ul style="list-style-type: none"> — 現行のチームについては、当面そのまま理事会直結で直接の対応策を考える。(常に理事会に報告) ・ 平和のための YWCA 研究室は、今総会期で閉じる。 ・ com7300 特別委員会は、今後 7 年、何をするかについて考え、理事会へ報告したのち、11 月の全国会員総会で明確に伝えるまでを役割とし、com7300 特別委員会は、今総会期で閉じる。その後の 7 年間の動きについては、内容によって新しい組織を要検討。 ・ 2 年後の臨時全国会員総会に向けて以下を検討し、必要があれば会則改正の準備を行う。 <ul style="list-style-type: none"> * 全国幹事会の役割と組織上の位置づけ。 * 全国会員総会への学校 YWCA からの代議員。 ・ 全国会員総会—加盟 YWCA 中央委員会—運営委員会(—各活動委員会)の位置づけ、役割、内容(協議する事項)の再構築と、それに必要な参加者、協議設定の枠組みを再考することを、次期役員会および運営委員会に申し送る形をつくる。 ・ 理事・監事・評議員の役割も継続協議する。 ・ 法人役員候補者選考委員会を立ち上げる。理事会から選考委員会のメンバーに尾崎裕美子理事を選出。 ・ セカンドハウスの利用は、福島県外在住者からの希望にも応える。
9/30	<p>報告</p> <p>1.前回理事会以降の業務報告</p>

	<p>2.その他</p> <p>(1)仙台・平塚・広島・沖縄チーム</p> <p>(2)神戸 YWCA との合同ワーキングチーム</p> <p>審議</p> <p>1.CSW へ派遣するユースへの補助額について</p> <p>・ 報告の中から CSW へ派遣するユースへの補助額について審議し、『公益財団法人日本YWCA 日本 YWCA ユースエンパワメント資産運用内規』3.(3)の「金額:1 件上限 10 万円」を削除し、円安による海外旅行費用に対応することとした。</p>
11/18	全国会員総会での理事会報告の内容について確認
2025 年 1/8	<p>1.全国会員総会を経て、34 総会期の全体組織図について協議</p> <p>2.新たに①ユースエンパワメント事業部、②将来構想推進事業部、③災害対応事業部を立ち上げる。</p> <p>3.2024 年 12 月の神戸 YWCA との合同理事会を受けて、2025 年度以降の地域 YWCA 支援制度、将来構想推進「協働事業」の枠組みを今後検討する。</p>
2/25	<p><u>議案</u></p> <p>第 1 号議案 2025 年度事業計画案の件</p> <p>第 2 号議案 2025 年度予算案の件</p> <p>第 3 号議案 資金調達及び設備投資の見込みの件</p> <p>第 4 号議案 特定資産「修繕引当積立資産」の取り扱いの件</p> <p>第 5 号議案 決議の省略の方法による評議員会の招集の件</p> <p>第 6 号議案 定時評議員会の目的及び場所並びに目的である事項の件</p> <p>第 7 号議案 34 総会期理事会の下の設置部会の動きの件</p> <p><u>報告</u></p> <p>1.前回理事会以降の各部会等の進捗状況の件代表理事報告</p>
3/10	1.沖縄での事業の拠点について
3/12	1.沖縄での事業の拠点について

(3)人事部会

当法人の理事会の委嘱を受けて日本 YWCA 職員人事全般に関して責任を負い、2024 年度は 7 回の会議、職員との人事面談、人事庶務の整備をもって、労働環境の整備等に当たった。

以上